

科目番号		科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号														
						凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目														
						1. 知識・理解		2. 表現		3. 思考			4. 態度・志向性		5. 課題					
1-1	1-2	2-1	2-2	3-1	3-2	3-3	4-1	4-2	4-3	5-1										
基礎教育科目	健康支援と社会保障制度	24UNSB3116	チーム医療論	3	保健医療福祉分野におけるチームアプローチの必要性を理解し、各専門職者の役割や機能の特徴を知り、理解を深めるとともに、連携のあり方や看護職者の役割・責任に対する考え方を明確にすることを目的とする。	1. 保健医療福祉分野の各専門職者の役割や機能の特徴を説明できる。 2. チームアプローチの必要性を記述することができる。 3. チーム医療における看護職者の役割や責任を自分の言葉で説明できる。	◎													◎
		24UNSB3117	疫学	3	健康づくりを中心とした予防的な保健活動を行うにあたり、その根拠を科学的に評価することは不可欠である。人間集団における健康状態とそれに関連する要因の頻度と分布を明らかにする疫学の基礎を教授する。	疫学概念および疾病頻度の指標、疫学調査法を理解し、既存統計資料の利用方法について学ぶ。具体的な疫学研究と保健活動への活用の実際を知り、その必要性について理解する。	◎			○										
専門教育科目	基礎看護学分野	24UNSS1131	看護学概論	1	看護概念および生活者としての看護の対象に看護を提供するために必要な基本的概念「人間」「看護」「健康」「環境」「生活」を理解し、看護とは何か、看護師とは何かについて、自分なりの考えをまとめることができる。 2. 看護の歴史や看護理論、看護制度、看護教育制度、看護倫理などに関する看護実践の基礎的知識を習得する。それを通して、看護の対象である人間について看護の視点から洞察を深めるとともに、看護師として必要とされる基本的態度や自己研鑽・看護観構築の必要性を理解する。	1. 看護を提供するために必要な基本的概念「人間」「看護」「健康」「環境」「生活」を理解し、看護とは何か、看護師とは何かについて、自分なりの考えをまとめることができる。 2. 看護の歴史や制度から現在の看護の位置づけを記述することができる。 3. 看護理論や看護倫理の必要性と看護実践とのつながりを説明できる。	◎	◎					◎	○	○					
		24UNSS2132	看護援助論	2	看護援助の基盤となる思考プロセスと科学的根拠に基づく看護実践の重要性について学ぶ。本科目では、まず看護過程・看護診断過程の基本を教授する。それに基づき紙上患者を用いて具体例を解説し、看護援助の必要性をアセスメントし計画していく一連のプロセスが理解できるよう個人課題作業を含め、具体的に学べるようにする。また科学的根拠に基づく看護実践の重要性について教授し、科学的根拠を調べまた検証する方法について探索的に学べるようにする。	1. 看護過程の意義や構成要素について説明することができる。 2. 患者情報に基づいてデータベースを作成できる。 3. データベースの情報を解釈・統合し、看護問題を抽出できる。 4. 評価につながる達成可能な患者目標を設定し、それに到達するような計画を具体的に立てることができる。 5. 評価を行うときの注目点ができる。 6. 科学的根拠に基づく看護実践の重要性を述べることができる。 7. 科学的根拠を調べ、検証する方法を知る。	◎			○	○	◎								
		24UNSS1133	基礎看護技術演習Ⅰ	1	本科目は看護行為に共通する技術について、看護実践における看護技術とは何かをふまえて講義と演習を統合させながら基本技術を修得する。各単元は、「看護における技術の概念」「看護技術に必要な安全・安楽・自立」「感染予防の基本的技術」「ボディメカニクスと安楽な体位」「体位変換、移乗、移送」「バイタルサインの測定」「人間関係技術」などである。	1. 安全、安楽、自立を考慮し、効率的な共通基本技術の方法の根拠や留意点を説明することができる。 2. 基礎的な共通基本技術を安全、安楽、自立や効率性を考慮して実施することができる。 3. 基礎的な共通基本技術を実施した後、自分の援助技術を評価し、改善策を見出すことができる。	○	◎	◎		○			○						

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号														
					凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目														
					1. 知識・理解	2. 表現	3. 思考	4. 態度・志向性	5. 課題	1-1	1-2	2-1	2-2	3-1	3-2	3-3	4-1	4-2	4-3
24UNSS1134	基礎看護技術演習Ⅱ	1	<p>本科目は基礎看護技術演習Ⅰを基盤として、患者の生活や機能面からみた日常生活行動に焦点をあてた援助技術の習得を目指している。特に、人間の生活や健康にとっての日常生活行動の意味を理解しながら、対象の健康レベルや発達段階に応じた日常生活援助の必要性が判断でき、対象に応じた日常生活援助が実施できるよう技術の原理原則と応用面への基礎的学習を行う。単元は、「環境を整える技術」「衣生活の援助」「排泄を促す援助」「身体の清潔を促す援助」などである。</p>	<p>1. 安全、安楽、自立を考慮し、効率的な日常生活援助技術の方法の根拠や留意点を説明することができる。 2. 基礎的な日常生活援助技術を安全、安楽、自立や効率性を考慮して実施することができる。 3. 基礎的な日常生活援助技術を実施した後、自分の援助技術を評価し、改善策を見出すことができる。</p>			○	◎	◎		○		○						
			<p>本科目は基礎看護技術演習Ⅰ、Ⅱの知識と技術を基盤に、療養生活の中での診断と治療場面における患者の安全・安楽を確保する援助技術を学習する。単元は「感染予防技術」「排泄を促す技術」「呼吸を整える技術：酸素療法、吸入・吸引」「検査と看護：採血」「与薬と看護：内服・注射」などである。療養生活の中での診断と治療にかかわる看護師の役割を踏まえ、患者の診断と治療が安全で確実に実施されるような基本的技術の習得を目指す。</p>	<p>1. 安全、安楽、自立および療養生活を考慮し、確実な治療処置技術の方法の根拠や留意点を説明することができる。 2. 基礎的な治療処置技術を安全、安楽、自立や効率性を考慮して実施することができる。 3. 基礎的な治療処置技術を実施した後、自分の援助技術を評価し、改善策を見出すことができる。</p>			○	◎	◎		○		○						
			<p>身体的側面から対象者の健康上の問題を査定・評価するフィジカルアセスメントの知識と技術を習得し、心理的側面・社会的側面を含めたヘルスアセスメントの方法を学習する。 また、ヘルスアセスメントに基づいて日常生活における援助のニーズを判断し、計画、実施、評価する過程を具体的な事例を通して理解することを目的とする。</p>	<p>1. 対象の身体の状態を診査する基本的手技を習得することができる。 2. 身体診査や問診結果から対象に何が起っているかをアセスメントすることができる。 3. 日常生活における援助のニーズを判断し、計画、実施、評価する一連の過程を事例で展開をすることを通して理解することができる。</p>			○	◎	◎		○		○						
			<p>看護の対象となる人を中心にして、その人が生活する療養生活、療養環境、および療養している人の身体心理社会的な様子を知ることが目的としている。また、看護師の実際の看護活動を見学し、看護援助の実際や療養生活を支える看護師の役割についての理解を深めることを目的としている。加えて、実際に対象との対話の機会を持つことで、看護援助の基本となるコミュニケーション能力や観察能力の重要性と自己の課題を明確にして、学習動機に結びつける。</p>	<p>1. 看護の対象者の療養生活を支える施設の総合的な機能や他職種の役割を説明することができる。 2. 対象者の療養生活、療養環境およびその人の身体心理社会的な様子を自分の言葉で説明できる。 3. 看護援助の場面を見学することにより、療養生活をサポートする看護師の役割を考察することができる。 4. 対象を理解しようとする姿勢でコミュニケーションをとることができる。 5. 自己の学習課題を明確にすることができる。</p>					◎	○					◎	◎	◎		

専門教育科目
基礎看護学分野

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号												
					凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目												
					1. 知識・理解		2. 表現		3. 思考		4. 態度・志向性		5. 課題				
1-1	1-2	2-1	2-2	3-1	3-2	3-3	4-1	4-2	4-3	5-1							
24UNSS1144	成人看護学概論	1	成人看護学各論への導入として「成人」「成人をとりまく健康課題」「成人看護展開のための理論および概念」「健康状態に応じた看護」を理解し、成人看護実践の基盤にできることを目的とする。	1. 成人期にある人々の心身の機能と発達課題、家族や社会における役割を説明できる。 2. 成人期における健康問題や課題を説明できる。 3. 成人看護に有用な理論および概念を理解できる。 4. 成人期にある人々を支援する看護活動および看護師の役割について説明できる。	◎	◎							◎				
	成人看護学 I A	2	成人看護学概論で既習した知識を積み上げ、慢性期と急性期の病態・病期・健康障害に応じた必要な看護援助とその根拠を理解する。	1. 疾患、病態、治療に関連した身体・心理・社会的側面への影響を理解できる。 2. 疾患や病態の慢性・急性期の症状・特徴や改善・悪化状況の指標となる検査データ、徴候を理解できる。 3. 疾患、病態時期に必要な治療とその看護援助について理解できる。 4. 慢性期・急性期にある患者の合併症予防の援助や退院後の日常生活を支援する方法を理解できる。 5. クリティカルな状況にある患者への看護について理解できる。			◎										
	成人看護学 I B	2	成人看護学概論で既習した知識を積み上げ、慢性期と急性期の病態・病期・障害を抱えて生活する対象者に応じた必要な援助とその根拠を理解する。	1. 疾患、病態、治療に関連した身体機能への影響を理解できる。 2. 疾患や病態の慢性期・急性期の症状・特徴や改善・悪化状況の指標となる検査データ、徴候を理解できる。 3. 疾患、病態時期に必要な治療とその看護について理解できる。 4. 慢性期・急性期にある患者の合併症予防の援助や退院後の日常生活を支援する方法を理解できる。 5. 周手術期、クリティカルな状態にある患者・家族への看護について理解できる。			◎										
	成人看護学 II (慢性期)	3	慢性的な疾病や障害を有する対象者を看護するにあたり必要な基礎的知識と技術を正確に理解し、演習を通して対象者の療養生活を実際にイメージしながら、個々の対象者に必要な援助について考える力を養うことを目的とする。	1. 慢性的な疾病や障害によって必要となる療養法について学び、それが生活に及ぼす影響について、対象者の立場で考察できる。 2. 慢性的な疾病や障害を有する対象者の療養生活を支援するために必要となる一般的な知識と技術について学び、その上で個々の対象者に応じた看護援助について考察できる。 3. 慢性的な疾病や障害を有する対象者の看護過程について学び、情報の収集・整理からアセスメント、看護上の問題の抽出、看護計画の立案まで、自分で展開できる。			○	○	◎	◎	◎						
	成人看護学 II (急性期)	3	周手術期／急性期にある対象者の治療や看護に必要な知識や考え方への理解および、根拠に基づく正確な看護技術の習得を通して、疾患や治療による心身の変化への適応やその人らしい生活への再構築を促す援助について考える力を養うことを目的とする。	1. 手術療法など侵襲的治療を受ける患者に生じる心身の変化を理解し、治療に伴う合併症の予防および、治療により変化した心身の状態や生活への適応を促す援助について考察できる。 2. 周手術期にある患者の術前と術後の看護に必要な知識と技術を理解し、根拠に基づく正確な看護技術を習得する。 3. 手術療法など侵襲的治療を受ける患者の看護過程について学び、情報収集、整理とアセスメント、看護問題の抽出と優先順位の検討、看護計画の立案までを展開できる。			○	○	◎	◎	◎						
24UNSS2149	サポータティブケア	2	がん化学療法や放射線療法による有害事象を緩和する援助、ADL低下に対する援助、苦痛症状の緩和、セルフケア促進のための援助について理解することを目的とする。	1. がん化学療法や放射線療法による有害事象やそれらを緩和する援助を理解できる。 2. 痛みの評価方法や徐痛方法を理解できる。 3. がん患者の心のケアの必要性を理解できる。		◎											

専門教育科目
成人看護学分野

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号												
					凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目												
					1. 知識・理解	2. 表現	3. 思考	4. 態度・志向性	5. 課題	1-1	1-2	2-1	2-2	3-1	3-2	3-3	4-1
専門教育科目	成人看護学分野	24UNSS3150	成人看護学実習 (慢性期)	3後 4前	この科目は、これまでの授業を通して習得した知識と技術をもとにして、慢性的な疾病や障害を有する対象者への看護のあり方を理解しながら、看護過程の能力を養い、個々の対象者に必要な援助方法を学ぶことを目的としている。	1. 対象者の病態および治療による身体状況を理解できる。 2. 対象者との円滑なコミュニケーションを通じて信頼関係を築くとともに、対象者の置かれた心理的社会的背景を理解できる。 3. 対象者の生活を尊重した援助を考えることができる。 4. 対象者のセルフケアやセルフマネジメントを支援するためのかかわりを考えることができる。 5. 対象者の療養生活を継続するために必要な社会資源の活用や継続看護、多職種との連携について考えることができる。	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		24UNSS3151	成人看護学実習 (急性期)	3後 4前	手術療法など侵襲的治療を必要とする対象者への看護において、急性期における看護の役割と援助の実際を学ぶと共に、対象者が疾患や治療により生じた心身の変化に適応し、その人らしい生活の再構築に主体的に取り組むことへの支援について学ぶことを目的としている。	1. 成人期にある対象者の発達課題、生活背景や社会的役割等を理解し、病態および治療の必要性とその影響を理解できる。 2. 対象者とその家族の、疾患と治療に対する認識、心理社会的状況について理解できる。 3. 対象者に行われる治療を理解し、侵襲的治療による生体反応と発症リスクの高い合併症を理解できる。 4. 対象者に行われる検査や処置の目的とその結果を把握し、必要とされる援助を理解できる。 5. 疾患や治療により対象者の心身に生じた変化をふまえ、社会生活への復帰に向けた支援を考え実践できる。 6. 周手術期または、疾患の急性増悪や突然発症の状況にある対象者の看護上の問題を明確にし、看護目標を設定し、看護計画を立案・実施・評価することができる。 7. 医療チームのメンバーとしての自己の責任を自覚し、連携や協働できる。 8. 自身の看護を振り返り、課題を明らかにし、改善に向け取り組むことができる。	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
	老年看護学分野	24UNSS2152	老年看護学概論	2	この科目では、身体的、精神的、社会的側面から高齢者の健康課題を理解し、看護の役割について考える力を養うことを目的とする。	1. 加齢に伴う身体的、精神的、社会的な変化を、理論やモデルを通して理解できる。 2. 高齢者の健康課題について説明できる。 3. 高齢者を支える保健・医療・福祉システムについて理解できる。 4. 高齢者看護の役割について、自分の言葉で説明できる。	◎	◎						○			
		24UNSS2153	老年看護学 I	2	この科目では、高齢者の加齢に伴う身体的・精神的・社会的な機能変化によって生じる日常生活への影響の理解を基盤とし、高齢者に特徴的な症状や疾患を持つ方への看護を実践するための基礎力を養うことを目的とする。	1. 加齢に伴う身体的、精神的、社会的な機能変化を、高齢者体験を通して理解できる。 2. 高齢者の身体の加齢変化が日常生活に及ぼす影響について説明できる。 3. 高齢者の身体の加齢変化と日常生活のアセスメントの視点について理解できる。 4. 健康障害を持つ高齢者のアセスメントの視点を理解できる。 5. 高齢者の生活を支える看護の具体的な方法について、自分の言葉で説明できる。		◎									
		24UNSS3154	老年看護学 II	3	この科目では、これまでの老年看護学に関する既習の知識を統合しながら看護過程を展開し、高齢者の個別性に合わせた看護を考える力を養うことを目的とする。	1. 医療依存度が低い高齢者の生活支援の視点について理解できる。 2. 医療依存度が低い高齢者のアセスメントと看護の視点について理解できる。 3. 治療が高齢者に及ぼす影響について理解できる。 4. 治療を必要とする高齢者のアセスメントと看護の視点について理解できる。 5. 医療依存度が低い事例高齢者の看護過程の展開ができる。 6. 治療を必要とする事例高齢者の看護過程の展開ができる。			○	○	◎	◎	◎				

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号																
					凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目																
					1. 知識・理解	2. 表現	3. 思考	4. 態度・志向性	5. 課題	1-1	1-2	2-1	2-2	3-1	3-2	3-3	4-1	4-2	4-3	5-1	
24UNSS4172	統合看護学実習	4	この科目では、各看護学分野で学んだ知識、これまで統合した学習内容や技術の習得を通して、組織の管理的な機能を把握した上でのチームの一員としての実践的な能力や対象者の生活の質の維持向上を目指したかかわりへの意識を育み、自己の人間の成長と看護師としての展望を明確にすることを目的とする。	1. 実務的な看護実践を通して、時間的管理を考慮したケアの提供を看護師とともに行うことができる。 2. チーム医療および他職種との協働の中で、看護師としてのメンバーシップおよびリーダーシップの実際を知ることができる。 3. 組織における看護管理の機能と役割の実際を知ることができる。 4. 対象者の疾病予防や生活の質を確保するための施設と地域との連携や生活の質に影響する口腔ケアに関する専門的な支援のあり方に対して、自分の考えをまとめることができる。 5. 多様な場面や状況において、人々の健康上の課題に対応する看護師の役割と活動の実際を述べることができる。 6. 本実習を通して自身の看護師としての将来像や看護観を述べるができる。								◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎		
	24UNSS4173	看護マネジメント	4	看護マネジメントは良質で、安全な医療を効率的に提供するために必要不可欠な過程である。本講義では、組織管理、看護ケアの質管理、安全管理、キャリア開発といった看護マネジメントの基礎的知識を習得する。	組織における看護体制、ケアにおけるマネジメント、チーム内でのメンバーシップやリーダーシップ、看護ケアサービスの質管理といった安全で良質な医療を提供するために必要な看護マネジメントの基本について理解を深める。							◎					◎		◎		
	24UNSS2174	家族看護学	2	この科目では、家族とは何か、家族に対するアセスメント、家族支援に関する理解を深め、それらの学びを活用して実習で受け持った事例の家族に関する分析を行うことを目的とする。	1. 家族に関連する種々の理論の概要を理解できる。 2. 家族を援助するためのアセスメントの視点を理解できる。 3. 家族に対する援助を考えるための視点を理解できる。 4. 実習での事例を通じて、家族への援助を検討する。							◎	○		○	○					
	24UNSS3175	看護研究方法	3	社会的な動向に関連した看護研究の発展過程を通して、看護研究が看護実践の質的向上に必要である観点の理解を深める。また、研究のプロセスや研究の倫理に関する基礎的学習を行い、研究計画書や論文作成の基本、発表方法などの基礎的素地を育成する。加えて、代表的な研究デザインをとりあげて、量的・質的研究それぞれの特徴と実際の展開例を学習する。	1. 看護研究と看護実践の関連性について自分なりの考えをまとめ、研究課題をどう見出すかを考察することができる。 2. 研究目的に合致する研究デザインの選択ができる。 3. 研究の倫理的配慮に関して必要な項目をあげることができる。							◎					◎	◎			
	24UNSS4176	卒業演習	4	看護研究の方法論や看護の基礎・専門領域の既習の学びを基盤にし、各自の問題意識から研究テーマの明確化を行った上で研究プロセスを主体的に学習し、研究に対する基礎的な態度を身につける。	1. 研究の必要性や意義を踏まえ、看護において解決すべき問題や現象、疑問事項などの自分の研究テーマを明らかにすることができる。 2. 研究テーマから研究目的の明確化を行い、目的に合致する研究計画書の作成ができる。 3. 研究計画書に基づいてデータ収集および分析ができる。 4. 研究によって得られた結果・考察に基づき、論文にまとめ、示説発表を行うことができる。														◎	○	◎

専門教育科目

統合分野

科目番号		科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号										
						凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目										
						1. 知識・理解		2. 表現		3. 思考		4. 態度・志向性		5. 実践		
						1-1	1-2	2-1	2-2	3-1	3-2	3-3	4-1	4-2	4-3	5-1
専門教育科目	統合分野	24UNSS4177	災害・国際看護論	4	グローバル社会・多文化共生社会で活動する看護師として必要な災害看護および国際看護の基礎的な知識を学習する。	1. 自分の身近に多様な人・文化が存在している現状を知り、異文化／多文化による摩擦や保健上の課題を理解できる。 2. 世界の健康問題の現状と、保健医療体制が国・地域によって異なることを理解することができる。 3. 国内外の災害発生状況および災害が人々の健康や生活に及ぼす影響を理解することができる。 4. 災害看護・国際看護にかかわる組織とその役割について理解できる。 5. 災害サイクルや活動の場に応じた看護の役割を考えることができる。										
							◎							◎		